

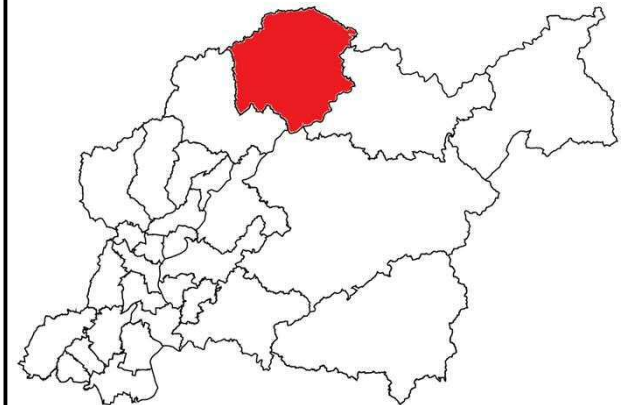
小原地域

自治力見える化カルテ (1/2)

地域概要 (地域の構造)

基礎データ (平成30年4月1日現在)

【位置図】



【地域特性】

小原地区は、豊田市の北部にあり、地区北部は岐阜県（土岐市・瑞浪市・恵那市）と隣接、東南部には矢作川が流れている。地区中央部は標高約300mであることにに対し、北部では500m以上、南端では約100mと高低差のある地形である。市街地まで車で30分～1時間程度の距離であり、自動車関連企業に勤める人も多く住んでいる。自然豊かな里山の暮らしと周辺都市部へのアクセスの利便性をあわせ持つのが小原の特徴である。しかし、近年は年をおごとに人口が減少しており、高齢化率は35%を超えている。

また、町内会単位の結びつきの強い地域であることも特徴である。

面積	74.68 km ²	(8.1%)	[市 918.32 km ²]
人口密度	49 人/km ²	(10.7%)	[市 462 人/km ²]
人口	3,677 人	(0.9%)	[市 424,500 人]
男性	1,810 人	(0.8%)	[市 221,768 人]
女性	1,867 人	(0.9%)	[市 202,732 人]
うち外国人人口	55 人	(0.3%)	[市 16,327 人]
世帯数	1,521 世帯	(0.9%)	[市 178,410 世帯]
平均年齢	52.75 歳	(10.0歳)	[市 42.73 歳]

【人口】

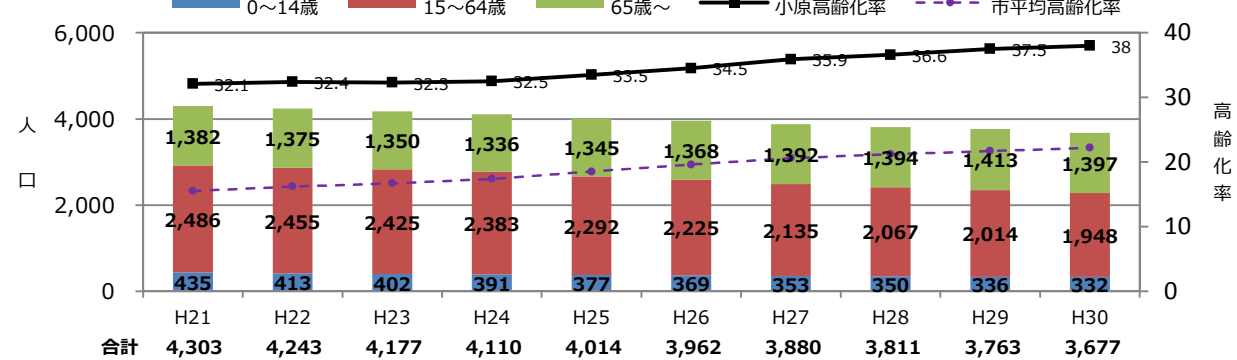
【年齢4区分別人口の推移】 (単位: 人、%)

	H25	H30	増減数	増減率
合計	4,014	3,677	△ 337	△ 8.4
0～14歳	377	332	△ 45	△ 11.9
15～64歳	2,292	1,948	△ 344	△ 15.0
65歳～	1,345	1,397	52	3.9
75歳～(再掲)	846	762	△ 84	△ 9.9
高齢化率	33.51	37.99	4.49	13.39

【人口動態】 (単位: 人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
合計	△ 52	△ 82	△ 69	△ 48	△ 86
自然増減	△ 57	△ 78	△ 41	△ 50	△ 74
社会増減	5	△ 4	△ 28	2	△ 12

【人口推移】



【自治区データ】

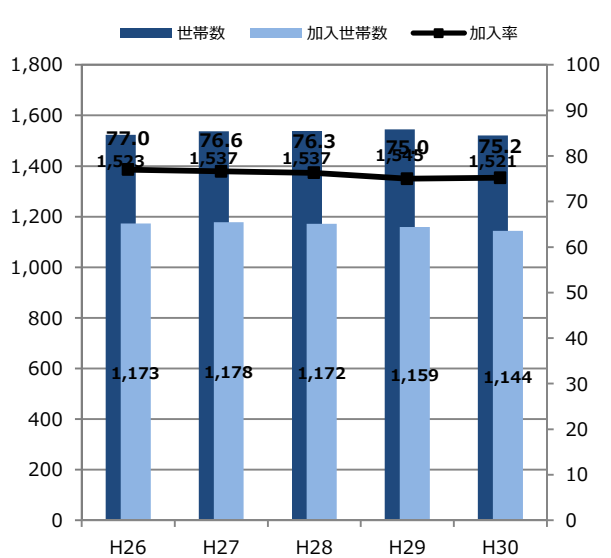
【自治区一覧】

自治区名	世帯数	自治区名	世帯数	自治区名	世帯数
大平	175	栄	69		
道慈	88	大草	145		
小原西	109	城東	106		
上仁木	102	矢作	69		
旭	79				
高原	69				
小原中	86				
小原東	47				

【自治区加入率】

加入率	75.2 %	加入世帯数	1,144 世帯
[市 80.9 %]		住基世帯数	1,521 世帯

【自治区加入率推移】 (単位: 世帯、%)



地域自治

出典: H29地域自治システム評価アンケート

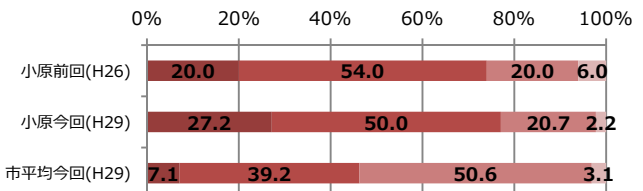
【地域課題】 (地域の課題認識が高い順) (単位: %)

課題・問題点の項目	小原	豊田市	差
豊かな自然環境の保全	66.4	40.3	26.1
鳥獣害対策の強化	61.9	28.9	33.0
空き家や耕作放棄地の対策の強化	59.8	32.8	27.0
若年層の定住促進策の拡充	59.8	33.6	26.2
公共交通機関の充実	56.5	44.3	12.2
郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	55.4	32.0	23.4
観光によるまちづくりの推進	54.4	18.9	35.5
生活道路・交通をスムーズにすること	52.2	45.4	6.8
農業・農地を保全すること	48.9	26.2	22.7
住民同士の交流の場や機会の拡充	48.9	34.2	14.7
医療の充実	47.9	47.2	0.7
交通安全対策の推進	47.8	53.9	△ 6.1
買い物の不便の解消	47.8	43.8	4.0
高齢者の生きがいづくりの場などの充実	45.6	38.0	7.6
福祉対策の充実	42.4	31.8	10.6
防災対策の充実	41.3	36.8	4.5
近所での働き口の創出	39.2	25.8	13.4
防犯対策の強化	39.1	40.5	△ 1.4
子育ての支援の充実	38.0	38.1	△ 0.1
市街地の活性化と魅力づくりの推進	35.8	31.3	4.5
広場、公園などの施設の整備	33.7	39.5	△ 5.8

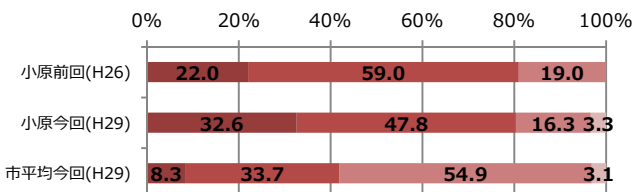
【地域自治システム認知度】

知っている 聞いたことはある 知らない 回答なし

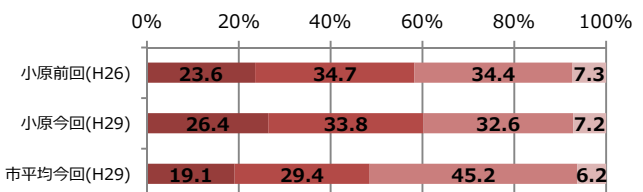
◎ 地域会議



◎ 地域のわくわく事業



◎ 地域の地域予算提案事業



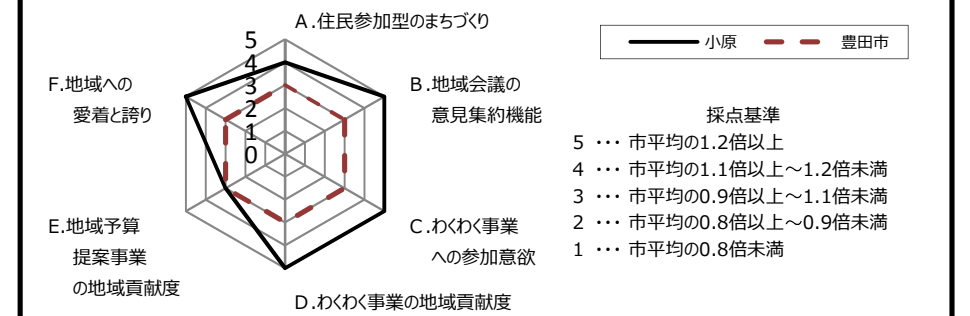
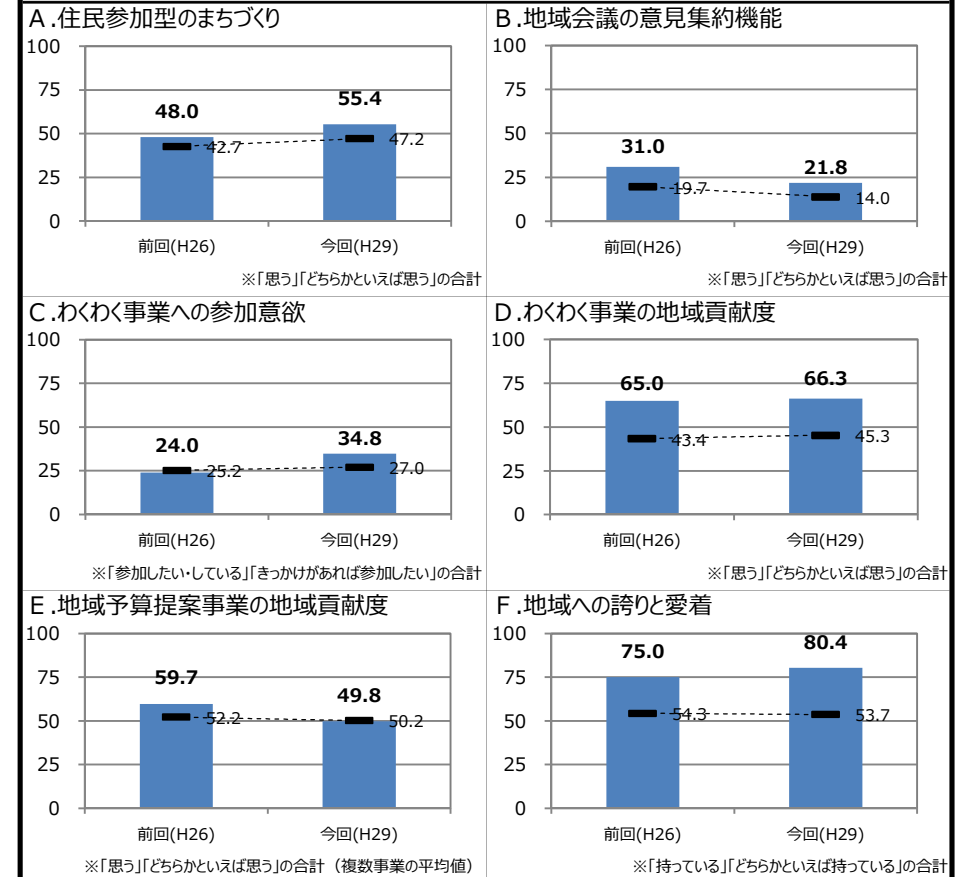
【コメント (地域概要)】

地域会議やわくわく事業の認知度が高く、住民参加のまちづくりが地区全体に浸透してきている。一方で人口は年々減少しており、35%を超える高齢化率も上昇の一途をたどっている。地域課題では自然環境の保全、獣害対策、定住促進といった中山間地域特有の課題が上位をしめている。

意識 (アンケートから診る意識面の自治力)

出典: 地域自治システム評価アンケート

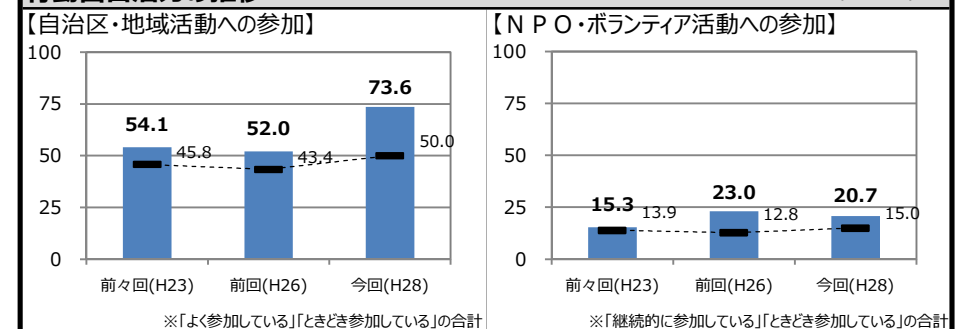
意識面自治力の推移 (レーダーチャート)



行動1 (アンケートから診る行動面の自治力)

出典: 市民意識調査

行動面自治力の推移



【コメント (意識及び行動1)】

意識面や行動面ともに全市の平均を上まわっており、比較的自治力が高い状況といえる。特に意識面では、地域への愛着やわくわく事業の貢献意識は高い数値となっている。また、自治区・地域活動への参加では、前回結果と比べ大幅に上昇しており、実際に行動に移す人も増えている状況がうかがえる。一方で、わくわく事業の参加意欲やボランティア活動への参加は他項目よりも低い数値となっており、地域活動以外の活動に参加していない状況もみられる。

自治力見える化カルテ（2 / 2）

行動2（分野別取組から診る行動面の自治力）

健康	交流館自主グループ	5 団体	わくわく事業関連団体	4 団体	福祉	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	1 団体
	スポーツ推進委員	5 名	ヘルスサポートリーダー	11 名		民生委員児童委員	12 名	お元気ですかボランティア	1 名
	高齢者クラブ	8 団体	その他団体	13 団体		ささえあいネット	72 団体	その他団体	1 団体
	活動例：【ヘルスサポートリーダー】地域イベントでの健康啓発事業を行っている 【健康づくりの会】小原地域内でのウォーキング活動を行っている 【城山元気会】高齢者のための脳トレーニング、筋力トレーニングを行っている					活動例：【訪問サポーター】サポーターが定期的に高齢者宅に訪問し、話し相手となっている 【織り姫クラブ】機織りを通じ、高齢者交流の場を創出している			
	コメント：地域住民が健康づくりを考えるきっかけづくりに繋がっている					コメント：見守り活動を通じて高齢者を地域で支える体制づくりが展開されている			
観光・産業	交流館自主グループ	7 団体	わくわく事業関連団体	7 団体	伝統・文化	交流館自主グループ	14 団体	わくわく事業関連団体	6 団体
	その他団体	6 団体	—	—		その他団体	1 団体	—	—
	活動例：【大洞町四季桜を守る会】大洞町の四季桜の管理を行っている 【オハラくありの華>プロジェクト】軽トラあんどんパレードを開催している 【小原軽トラ市】小原産の野菜を販売している 【おばら米ブランド化研究会】小原産の「ミネアサヒ」のブランド化の研究を行っている 【おばらマルシェ実行委員会】マルシェを開催している					活動例：【小原ガイドボランティア】小原俳句会を実施している 【小原歌舞伎保存会】年2回の歌舞伎の定期公演や、歌舞伎体験会を開催している 【豊田小原和紙工芸会】展覧会、講習会の開催や、後継者育成を行っている 【2020年豊田国際紙フォーラム実行委員会】豊田小原和紙の世界に向けた情報発信や産業化の促進を行っている			
	コメント：地域資源を活かした事業実施であり、近年観光客も訪れるようになっている					コメント：大人のみならず、子どもも地域の伝統・文化に触れる機会となっており、郷土への愛着や誇りに繋がっている。			
環境・景観	交流館自主グループ	4 団体	わくわく事業関連団体	4 団体	安全・安心	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	1 団体
	その他団体	9 団体	森づくり会議	9 団体		自主防犯団体	8 団体	自主防災会	12 団体
	不法投棄パトロール隊	17 団体	—	—	消防団	109 名	その他団体	1 団体	
	活動例：【チャレンジ大平】環境整備やブルーベリー園の維持管理・収穫体験を行っている 【里山 和】矢作川周辺の環境整備を行っている					活動例：【小原地区防災ボランティア】作業ボランティアによる防災対策を行っている 【消防団】防災啓発や、有事の際には救助活動・捜索活動などを行っている 【交通指導員】児童、園児等の登下校における指導を行っている			
	コメント：定期的な活動により、不法投棄防止、景観整備、水害対策に繋がっている					コメント：減災に対する物理的備えの補助や啓発活動が地域住民により展開されている			
子どもの健全育成	交流館自主グループ	2 団体	わくわく事業関連団体	2 団体	自治振興	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	1 団体
	主任児童委員	2 名	放課後児童クラブ	1 団体		その他団体	1 団体	—	—
	その他団体	1 団体	—	—	—	—	—	—	
	活動例：【小原ソフトテニス連盟】小中学生を対象に、ソフトテニス教室を開催している 【ごろにゃあご】絵本の読み聞かせや、手遊び、パネルシアター等を行っている					活動例：【小原夏火】手筒花火の製作や実演を行っている 【小原を考える会】小原地域の問題点について議論している			
	コメント：子どもの健全育成や、母親同士の仲間づくりが進められている					コメント：地域活性化を目指し、どうすべきかという検討が地域住民の中で行われている			
（その他促進）1進	【定住促進委員会】空き家情報バンク制度の周知や空き家情報の集約、地域・所有者等との調整を行っている 【ようこそおばら委員会】おばらの今を伝える情報誌「おばらのじかん」を定期的に発行している				その他（2）	【			
	コメント：空き家等の確保に向けたハード面と小原に目をむけるきっかけを作るソフト面の双方からの定住施策が展開されている。					コメント：			

【コメント（行動2）】
地域住民による、積極的かつ公益性の高い活動が展開されている。特に地域住民が課題と認識している「豊かな自然環境の保全」、「郷土の歴史・伝統・文化の保全と再生」に関する団体が多くあり、行政では手の届かない地域課題の解消に繋がっている。一方で、高齢化や担い手不足が危惧される団体も多い。しかし、専門的な知識、技術を持った経験豊富な団体も多く、こうした団体の活力をまちづくりに活かしていくためにも、団体が継続して活動できるよう支援していく必要がある。

行動3（事業の展開から診る行動面の自治力）

【わくわく事業実績】											
事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
①保健、医療、福祉の推進	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	
②地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツの振興	2	2	3	3	3	2	2	2	2	5	
③安心・安全な地域づくり								2	1	1	
④地域の生活環境改善、景観づくり 自然環境保全	8	13	8	8	6	8	5	2	3	2	
⑤子どもの健全育成	1	3	1	2	1	1	1	1		1	
⑥地域の特性を生かした産業振興										1	
⑦地域づくりに有効な助言や提案を受けるための事業											
⑧その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業		1	1						2		
事業件数（件）	12	20	14	14	11	12	9	8	10	12	
実績額（千円）	4,996	4,909	4,990	4,717	4,863	4,950	3,316	3,044	4,155	4,441	
※H30は、平成30年7月31日現在											
【地域予算提案事業実績】											
事業名	事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小原地区定住促進計画の策定事業	定住対策	2,604									
これでOKまるごと小原（小原ガイドブック）の作成	定住対策		320								
町名・名所案内標識版の設置	観光交流		4,678								
高齢者を地域で支える体制づくり	高齢福祉	1,223	1,397	1,439	1,224	1,202	1,188	1,170	1,149	1,828	
コウゾ植栽による小原和紙ブランド化事業	農業振興		458	155	297	724	401	345			
地域で取り組む防災力向上事業	防災対策		4,144								
ゴミの不法投棄防止事業	環境対策			362	457	559	382	289			
観光PR推進事業	観光交流		1,199								
耕作放棄地整備支援事業	農業振興		568	529	627	862	835	415	772		
定住促進サポート事業	定住対策				1	451	2	493	656	1,534	
生活道路環境整備推進事業	交通安全			10,940	8,317	8,683	8,532	7,951	8,039	9,100	
若者のUターン促進事業	定住対策				1,202	1,487	1,332				
おばら米ブランド化チャレンジ事業	農業振興							329	362	778	
杉田久女顕彰事業	文化活動								754		
矢作川水源保全啓発事業	環境対策								16		
おばらマルシェ創出事業	観光交流								340	1,957	
四季桜・紅葉の育成体制の構築	観光交流									3,343	
実績額（千円）		2,604	6,221	5,999	14,663	12,027	13,733	12,699	11,412	11,731	19,312
※H30は当初予算額											

【コメント（行動3）】
平成25年度に策定した「おばらみらいプラン」（基本構想10年間、前期計画5年）に基づき、目指す将来像の実現に向けて地域住民が実施すべき分野は、わくわく事業、行政が実施すべき分野は地域予算提案事業を活用するなどして、地域と行政の共働による効果的なまちづくりを進めている。しかし、防災対策、子どもの健全育成に関する分野の取組が手薄であり、今後強化していく必要がある。

総評

小原地区は、平成25年度に地域住民が主体となって策定した「おばらみらいプラン」を地域活動の指針とし、地域と行政の共働によるまちづくりを進めている。アンケートの結果からも地域住民の地域自治に関する意識の高さ、郷土に対する愛着がうかがえる。一方で、人口減少と高齢化が進み、多くの活動で担い手不足・後継者不足という問題を抱えている。
今後は、地域の担い手となる人材を増やすために定住促進の取組を強化する必要がある。その一方で、限られた人材の中で効果的な取組を推進するため、既存の団体の活動と連携した取組を進めるなど、団体の活力やノウハウをまちづくりに生かしていく必要がある。更には、地域の状況変化を的確に捉えたうえで事業や取組の見直しを進めるなど、現存する地域資源（ヒト・モノ・コト）を磨き上げ、生かす工夫を凝らしながら、少ない人材でも実践できる効果的なまちづくりを進めていく必要がある。